

結 果

1. 掘り取り時期と軟化温度

掘り取り時期に関しては、第1図に示したように、12月掘り取りでは、ほう芽は徐々に始まるため収穫期は遅れ、収穫期間も長かった。一方、1月と2月掘り取りは、処理開始後、5℃処理を除き直ちにほう芽が始まり、収穫期が早かった。

軟化温度に関しては、高温ほどほう芽及び収穫期が早く、収量（累積葉柄重）も大きい傾向を示した。15℃と10℃の間では、掘り取り時期が遅くなるほど、その差は小さくなった。5℃ではほう芽開始が遅く、また葉柄の伸長速度が遅いため、収穫期が遅かった。そして、5℃の場合、収穫期は掘り取り時期とは関係なく、ほぼ一致

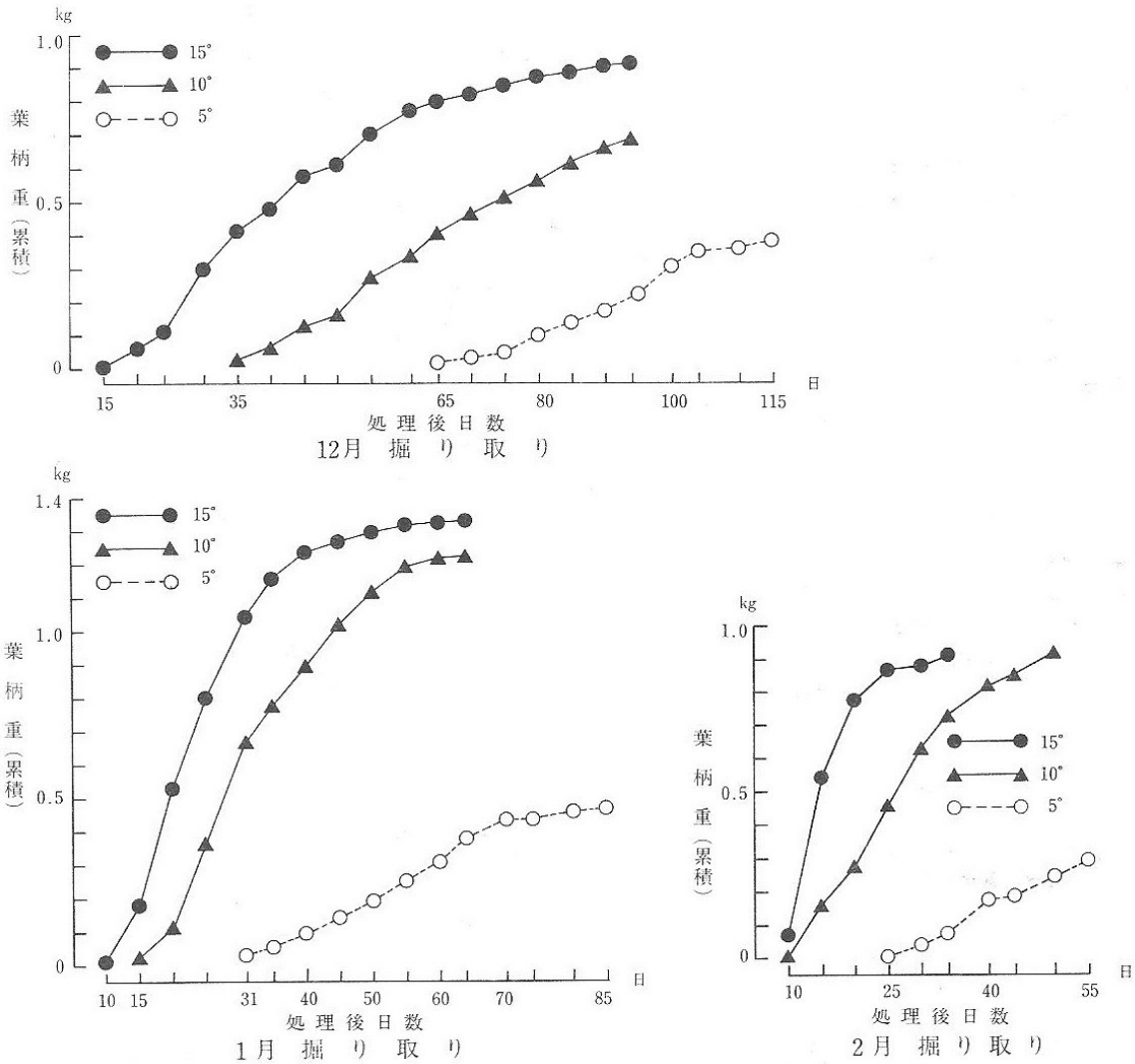
して3月上旬より始まった。

抽だいは、12月掘り取り15℃処理以外ではすべての区で観察された。第2図に示すように、12月掘り取りを除けば、高温区ほど抽だいが早かった。また、掘り取り時期が遅くなるほど抽だいまでの所要日数は短くなる傾向がみられた。

葉柄色は低温ほど、また収穫初期ほど赤色が濃かった。

2. ジベレリン処理がほう芽に及ぼす影響

1月掘り取りの実験では、出芽は全区とも伏せ込み後5日に始まり、収穫は第3図に示したように、対照区を除き、伏せ込み後15日（2月8日）から可能となった。収量は初期よりジベレリン処理区が多く、対照区で少なかった。1株当たり収量は、第2表に示したように、ジベレリン処理区で多いが、ジベレリン濃度間には有意な



第1図 掘り取り時期と軟化温度が葉柄重に及ぼす影響

注) 葉柄重は10株当たり累積重